

## ■ アドミッション・ポリシー

大阪青山大学の建学の精神、基本目標を理解するとともに、社会福祉の理念である「人権尊重」「自立支援」「地域福祉の確立」を基本に据え、次のような資質を具えた人を求めています。

- ・年齢、国籍、性別を問わず、介護福祉士を目指す人
- ・思いやりと優しさと協調性を備える人
- ・基礎的な学力と日本語でのコミュニケーション能力を有する人
- ・介護分野の知識・技術を習得するために学修をやり通せる人
- ・介護福祉士として地域や社会に貢献する意思と責任感のある人

## ■ カリキュラム・ポリシー

介護福祉別科では修了認定方針に掲げる目標を到達するために、高い倫理性の保持と、エビデンスに基づいた専門的知識や技術の習得と、チームマネジメント能力の理解と、介護福祉の理解に重点を置いたカリキュラム(教育課程)を編成する。

- ①「生活文化演習」「アクティビティ演習」の中で、日本の文化を取り入れ、感性を育むカリキュラム構成とする。
- ②「人間と社会」「介護」「こころとからだのしくみ」「医療的ケア」の4つの領域のカリキュラム構成とする。
- ③介護実習は、介護施設や高齢者・障がい者の特性を理解するための実習を1年次、介護を理論として捉え、現場での実践知を養うための実習を2年次で構成する。
- ④学修形態に、アクティブラーニング、ICTの導入を取り入れ、主体的な深い学びを実現する。

## ■ ディプロマ・ポリシー

介護福祉別科の授業科目を履修し、以下の資質・能力を身に付け、基準となる単位数を修得した者に対して、「介護福祉士国家試験受験資格」授与の資格を修得させ、修了を認定する。

- ①感性豊かな人間性と幅広い教養を身につけ、要介護者やその家族と意思疎通が図れ、信頼関係を築くことができる。
- ②要介護者やその家族の意思を尊重し、状況を的確に判断できる。
- ③適切で計画的な介護ができる専門的な知識、技能を有し、的確に自己評価ができる。
- ④チームケアの観点から他の保健、医療及び福祉従事者と連携し、協働して総合的、一体的な介護ができる。